

【担当者名】 百々 尚美 (ndodo@hoku-iryo-u.ac.jp) 生田 倫子 (非常勤講師)

【概要】

家族関係・集団・地域社会における心理支援等に関する理論と実践を学ぶ。

【学修目標】

集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践を学ぶ。  
 家族関係に関する理論と実践を学ぶ。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	ベイトソンによってシステム論が心理療法に導入されるに至った歴史的経緯について学ぶ。	生田 倫子
2	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	家族療法の基礎理論：システム論とコミュニケーション理論学について学ぶ。	生田 倫子
3	家族療法/ブリーフセラピーの認識論的なりたち	MRIアプローチとソリューションフォーカストアプローチ (SFA) について学ぶ。	生田 倫子
4	コミュニケーションの語用論	「送り手が送る意味」と「受け手が受け取る意味」の語用論について学ぶ。	生田 倫子
5	コミュニケーションの語用論	原因を追究しないという認識論 円環的認識論とは何かについて学ぶ。	生田 倫子
6	集団・地域社会における心理支援	健康心理学を題材に取り上げ、その理論と臨床応用の実際を概説する。	百々 尚美
7	集団・地域社会における心理支援	科学的根拠のある心理学的介入について概説する。	百々 尚美
8	ストレスとその対処	科学的根拠のある心理学的介入について概説する。	百々 尚美
9	ヘルスプロモーションのモデル	ヘルスプロモーションについて概説する。	百々 尚美
10	ライフスタイルと健康増進	健康信念モデルについて概説する。	百々 尚美
11	ライフスタイルと健康増進	セルフエフィカシーについて概説する。	百々 尚美
12	ライフスタイルと健康増進	計画的行動理論について概説する。	百々 尚美
13	ライフスタイルと健康増進	ストレスコーピングについて概説する。	百々 尚美
14	ライフスタイルと健康増進	Transtheoretical Modelについて概説する。	百々 尚美
15	ライフスタイルと健康増進	動機づけ面接について概説する。	百々 尚美

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部(研究科)、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

百々、生田の2教員よりそれぞれ課題が出題される。(100%)

【教科書】

別途指示する。

【参考書】

別途指示する。

【備考】

1. 学習教材(授業資料)の配信、学習課題の提示

- ・授業資料の配付はGoogle Classroomを利用して学習課題を提示する
- 2. 授業に関する学生相互の意見交換やグループ学習の実践
  - ・学生相互の意見交換を目的にGoogle Classroomを活用する
- 3. 任意の時間での授業の受講
  - ・Google Classroomを利用したオンデマンド型授業、オンライン授業を行う場合もある
- 4. 授業時間中にその場で学生の理解度を把握する技術の活用
  - ・Google Formを活用し、授業時間中にその場で学生の理解度を把握する
- 5. 欠席回数について
  - ・各自で責任を持って管理すること(欠席回数についての問い合わせには原則応じない)。
- 6. 課題について
  - ・課題の提出締切を厳守すること(遅延の場合は課題の評価は減じられる)
  - ・課題内容において、剽窃などの不正がなされることは極めて低劣な行為であり、いかなる事情があろうとも忌避されるべきものである。そのような不正が発覚した場合、あるいは強く疑われる場合には、以降、その学生からの提出物は評価の対象から除外する。

#### 【学修の準備】

1. 予習について
  - ・シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること(20分)
2. 復習について
  - ・講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと(20分)

#### 【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

本科目の内容は、臨床現場において人の尊厳を重んじた科学者・実践家として社会に貢献することが期待できる能力を修得するという臨床心理学専攻博士前期(修士)課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

#### 【実務経験】

百々 尚美(公認心理師) 生田 倫子(公認心理師)

#### 【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての医療・福祉・教育での実務経験を活かし、臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。